

特定非営利活動法人 さーくる横須賀
<https://sa-kuru-yokosuka.com/>



**なんでも福祉相談室「伴歩」(ぼんぽ)
& シェアハウス「ヒーローズ」**

第3部 2024年【実践活動報告会】資料

2024年5月18日(土)

15時30分～16時30分

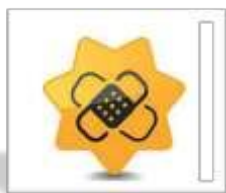
会場:横須賀市産業交流フラザ

- 第1部：総会 *対象：正会員（サポーター・スタッフ）30名
14時00分～14時45分
- 第2部：三線の演奏
14時45分～15時15分
(ネモッティ様)
- 第3部：実践活動報告会
15時15分～16時30分
- *「ヒーローズ」卒業生インタビュー含む

(2021年5月 神奈川県よりNPO法人認可済)

なんでも福祉相談室「伴歩」(ばんぽ)

& シェアハウス「ヒーローズ」



「生きづらい、生きにくい方」または「ホームレス、ネットカフェ生活者、生活困窮者」などで困っているけれども行政や民間の支援でも行き届かず、お一人ではどうすることもできない時に、制度の「狭間」「隙間」

「網間」「谷間」「対象外」(セーフティネットの穴)を塞ぐ一時的・緊急的な「お手伝い」(バンポ・エイド大判)の役割を担っている**ボランティア団体**です。

路上生活者・生活困窮者支援活動 **シェアハウス「ヒーローズ」**

- 路上・ネットカフェ・生活困窮者などの「リ・スタート」のための「緊急一時・短期宿泊場所」(無償。生活保護受給予定者除く)を支援します。(入居時のみ：食料品支援、日用品支援、入浴券・衛生品支援あり)
 - 寝るところ、食べること、お風呂に入ること(着替え含む)によって安心と安全な生活をして、ここからの余裕が出てきた際に、今後の人生・生活の「相談支援」をします。
- ☆就職活動支援、日中活動支援、生活保護申請支援、借金清算支援、アパート探し支援など
- 場所：非公開、部屋数：3室(男性のみ)、期間：一時(～1ヶ月)と短期(2～4ヶ月)
 - 条件：アパート生活する気持ちがあり、そのための「貯蓄をする」(金額は要相談)

例示

- 60代男性：年金はあるが借金もある。自宅は持つと督促がくるので長年路上生活をしているがそろそろ外の生活は辛くなった。アパート探しと借金清算をしていくため短期利用。
- 50代男性：荷物を持って移動するのは大変になってきた。仕事をしたいが、住所設定や携帯電話を持っていないと応募できない。仕事とアパート探しをしていくため短期利用。
- 40代男性：コロナ禍で仕事が減ってネットカフェ代がなくなってきた。路上生活していくのは怖いし辛いし嫌である。今後の生活・人生設計を考える時間と場所として一時利用。

悩みごと、困りごと 気がかりなこと **なんでも福祉相談室「伴歩」** ほんぽ

- 対象：「全て」の困っている人：子ども（児童）、小中高大学生、成壮年、中高年、老年など
- 分野：「全て」の困りごと：福祉、介護、障がい、人間関係（家族・友達・職場など）など
- 対応：「全て」についてまずは話を聴き、選択肢を提示、必要な機関に連携するなど
- 姿勢：同行（付添）、訪問（駆けつけ）、アウトリーチ&アフターフォロー、お節介
- 費用：無償（但し実費有り）

例示

- 40代女性：独身。コロナ禍で仕事がなく、貯蓄もなく、食べるものもなく、どこの誰に相談したらいいのかわからない。人生を諦めようと思っている。
- 50代男性：父親と2人暮らしで介護をしながら父親の年金で何とか暮らしているが、近いうちに父親が亡くなった後、働く自信がなくどうやって生きていけばよいかかわからない。
- 60代男性：お金がなく知り合いの家にいるが出なくてはならない。身体の調子が悪く家から出たら生きていけそうもない。

【活動紹介】

正会員 30名（サポーター23名、スタッフ7名）

事業費 2024年度予算245万円（30万円賛助寄付金、50万円横須賀市よりなどの補助金など含む）

特徴 ①訪問支援（駆けつけ） ②同行支援（付き添い） ③アフターフォロー

① 悩みごと、困りごと 気がかりなこと **なんでも福祉相談室「伴歩」**（ほんぽ）

- (1) 「カフェグレース」（汐入駅前、月2回相談室開設）、電話・訪問相談
- (2) 「健康・福祉相談ブース」（市役所前公園にて、月1回開設）

② 路上生活者・生活困窮者支援活動 **シェアハウス「ヒーローズ」**

- (3) シェアハウス（男性個室3部屋、非公開。2021年度と2022年度各7名の方がアパート等へ）
- (4) 路上生活者など巡回相談支援（夜回り・昼回り実施：月に計2回）

*体調の確認や生活上の困りごとなどをお聴きし、食料・衣類品、テレフォンカードと名刺などをお渡する

③ **横須賀の生活困窮者支援を学び考える会**（2021年1月18日発足、発起法人兼事務局）

参加：横須賀市社協、社会福祉法人3ヶ所、病院関係2か所、当NPO法人、オブザーバー：神奈川県社協
目的：横須賀の生活困窮者支援の情報共有や学習しながら、協力して実践支援をしていくネットワークを作っていく。 *社会福祉法における「地域貢献」・・・県社協ライフサポート事業の実践

【2023年度 事業報告（概略）】

- ① 横須賀市役所前公園の現行機能維持の陳情書+署名簿を提出（173筆）⇒不可
- ② 横須賀市長と横須賀市社会福祉協議会長に「要請書」を提出 ⇒可決
- ③ シェアハウス「ヒーローズ」利用者増のため5月より2部屋⇒3部屋増室（一時4部屋にした
が支援力が足りなく3部屋に戻した。また、男性利用者が0名の時に女性1名利用された）
- ④ 利用者（2024年3月31日現在）
ヒーローズ関係： 新規26名+昨年度継続 25名=51名
伴歩関係： 新規30名+昨年度継続 5名=35名
合計 新規56名+昨年度継続 30名=86名
*シェアハウス「ヒーローズ」卒業者：
2021年度：7名+2022年度：7名+2023年度：17名=28名
*2023年度：卒業が難しかった方3名
- ⑤ 正会員30名（サポーター23名、スタッフ7名）（2024年3月31日現在）
*昨年以降、サポーター3名増、スタッフ2名増と3名減
- ⑥ 賛助寄付金者：延べ35名、新品/中古家電製品など寄付者：延べ15名、
フードバンクかながわ（食料品授受契約済）年間13回
- ⑦ 補助金3ヶ所取得と生活保護の住宅扶助費分納入7名
- ⑧ 総会開催（2023年5月27日、正会員7名参加）：事業報告・計画、決算・予算の議案⇒可決
「実践活動報告会」開催（5月27日、賛助寄付者など11名+正会員7名=18名参加）
- ⑨ 理事会（2回）、全体ミーティング（12回）、ヒーローズミーティング（回）、伴歩ミ
ーティング0回（休会中：メンバー1名のため）開催
- ⑩ 正会員及び市民向けの学習会の開催
9月「難民、仮放免・在留ビザの基礎知識とケース事例」（9名）、
2月「生活保護制度と生活困窮者自立支援制度の基礎知識」（10名）
- ⑪ 広報誌「つなGOOD！」第9号～第12号の4回発行（1,000枚）約170ヶ所配布
- ⑫ 「他機関などでの実践活動説明」（広報宣伝）：6団体+FMブルー湘南年3回出演
- ⑬ 「横須賀の生活困窮者支援を学び考える会」主催：5月、8月、11月、2月の年4回開催
*1月の第10回目に、ゲストとして横須賀市役所生活支援課・生活福祉課係長3名が参加
- ⑭ 「第2回卒業者・バーベキュー納涼会」（7月）ヒーローズ卒業者等8名+スタッフ4名参加
「第3回卒業者・お鍋忘年会」（12月）：ヒーローズ卒業者4名+スタッフ4名参加
*卒業者役割分担、アルコール不可、送迎可
- ⑮ 「健康・福祉相談ブース」開設：毎月第4日曜18時～19時開設（計10回）
- ⑯ なんでも福祉相談「伴歩」in カフェグレース開設：
毎月第1火曜、第3土曜日：12時～16時（計22回）
- ⑰ 「昼回り・夜回り巡回相談」：第2月曜9時～11時、第4水曜21時～23時（計24回）
- ⑱ 仮称「セカンド・ヒーローズ」開設の補助金の申請が通らなかったため来年度に持ち越し。など

【全体の利用人数】

【ヒーローズ+伴歩合計関係】

年度	新規 (A)	前年度から継続 (B)	終了 (C)	次年度へ継続 (D) (D) = (A) + (B) - (C)
2021 年度	18 名	—	8 名	10 名
2022 年度	46 名	10 名	32 名	24 名
2023 年度	56 名	30 名	41 名	39 名
	120 名			

【ヒーローズ関係】

年度	新規 (A)	前年度から継続 (B)	終了 (C)	次年度へ継続 (D) (D) = (A) + (B) - (C)
2021 年度	10 名	—	4 名	6 名
2022 年度	21 名	6 名	8 名	19 名
2023 年度	26 名	25 名	47 名	22 名
	57 名			

【伴歩関係】

年度	新規 (A)	前年度から継続 (B)	終了 (C)	次年度へ継続 (D) (D) = (A) + (B) - (C)
2021 年度	8 名	—	4 名	4 名
2022 年度	25 名	4 名	24 名	5 名
2023 年度	30 名	5 名	18 名	17 名
合計	63 名			

*終了とは、ご逝去、連絡が途絶える、関わりを必要としない、他の施設などに移った場合。

【ヒーローズ関係】

1. 2023年度の「ヒーローズ」利用者が2倍増

- 18名中14名の方は住まいが決まりました。しかし3名の方は、就労先が見つからずアパート設定までの支援が出来ず残念でした。特に発達障害者の方に対しての就労支援の力量不足を感じました。 *1名利用中
- 利用者が2倍に増えた理由は①当法人の活動の認知度広がった②ホームページを立ち上げてSOSが増えた(市外からもあり)③横須賀市役所担当課からの依頼が増えた④一部の無料低額宿泊所などでの環境や集団生活によるストレスから逃げられてきた方が増えた⑤病気、障害、女性、50~60代の方が安定した仕事に継続して就きにくい社会となり、お金がない方が増えたと考えられます。

2. ヒーローズ利用状況(男性個室2室⇒3室増)

- ① 利用者：1名(前年度から継続)+17名=18名 *内1名女性
- ② 年齢：20代：2名、30代：5名、40代：2名、50代：4名、60代4名、70代1名
- ③ 前泊地：路上生活4名、ネットカフェ5名、グループホーム1名、路上生活寸前6名、出入国管理センター1名、知人宅1名
- ④ 利用日数

A様：62日(前年度24日含めると86日)	B様：8日	C様：17日
D様：97日	E様：131日	F様：36日
G様：2日	H様：36日	I様：6日
J様：9日	K様：29日	L様：29日
M様：46日	N様：29日	O様：5日
P様：5日	Q様：43日	
R様：15日(7月下旬アパートへ卒業予定)		合計：605日

⑤利用率(2023年5月15日~2部屋⇒3部屋)

365日×2室+321日×1室=1,051日

605日÷1,051日=57.6%

3. 3年間比較

2021年度(1年間) 7名 : 合計231日
2022年度(1年間) 7名(+1名翌年度継続) : 合計389日
2023年度 18名 : 合計605日

4. その他数字

- ①転居地：アパートへ9名、7月中旬アパートへ卒業予定1名、無料低額宿泊所1名、寮へ1名、帰省1名、他施設へ3名、友達の家へ1名、入院1名
- ②転居後の収入：就労：2名、就労予定：1名、就労十年金：2名、生活保護：10名、仮放免のため就労できず：1名、無収入：3名

③支援内容

支援：生活保護制度の申請手続きや通院の同行支援、アパート頭金貯蓄のための預かり、アパート・就職先やボランティア先探し、多重債務整理支援、引っ越し手伝い、アフターフォローなど

提供（貸出）：個室、布団、食料品（主にフードバンクより）、銭湯券（週2回）、衣類、転居時の中古の生活用品・電化製品。

⑤貸付・給付制度支援（「リ・スタートのための基金制度」【K&M】基金）

「緊急一時貸付基金」・・・7名 **全員完済**

「緊急一時給付基金」・・・1名 **仕事に就き次第返済予定**、2名**未返済で終結**

⑥預かり金管理制度の利用

70代、女性、毎週定額生活費をお渡しした（2023年4月17日～2024年3月1日）。

➡待機が終わり、横須賀市社会福祉協議会あんしんセンターに引き継いだ。

5. **横須賀市内での路上生活者巡回相談支援** *夜回り市民体験：4名参加

実施：**夜回り**：第4水曜日21時～23時、**昼回り**：第2月曜日9時～11時・・・月2回
年間24回実施。主に公園（6ヶ所）などにおいて、路上生活者などに食料、衣類、カイロ、マスク、テレホンカード、パンフレットなどお渡しし相談に乗った。

*関係性を持っている(た)利用者5名（年金：3名、日雇い：2名、無収入：1名）＝6名

*夜回りで3年間関わった1名が、2023年8月真夏にて公園で亡くなられた（合掌）。

6. **2023年度（仮称）シェアハウス「セカンド・ヒーローズ」開設断念**

- ・対象：主に女性や性的マイノリティーなどの方で路上・ネット・生活困窮者など
- ・内容：人生の「リ・スタート（再スタート）」のための「緊急一時・短期宿泊場所」の提供
- ・助成金：4ヶ所申請をしたが1ヶ所不採用、1ヶ所金額が少額、1ヶ所辞退、1ヶ所未定
- ・部屋の条件：

NPO法人でアパートの部屋を借り不特定な利用者が利用してよいことを認めてもらう

【伴歩関係】

1. 相談内容

- ①どこに相談したら、聞いたらよいかわからない
- ②様々な相談所に相談したが、他の方法を教えてもらいたい
- ③ただ単に話を聞いてもらいたい

2. 紹介者

- ①グレースカフェのマスター
- ②病院の医療ソーシャルワーカー
- ③学校のスクールソーシャルワーカー
- ④市役所や社協の職員
- ⑤ホームページやポスター
- ⑥口伝え など

3. 手段

- ①対面場所（市役所前公園、グレースカフェ、公共施設、自宅訪問など）
- ②電話

4. 開催日：

①なんでも福祉相談「伴歩」（in カフェグレース）・・・11回開催

☆京急汐入駅前の「喫茶店」カフェグレースで開店、来店、電話予約可能

☆毎第1火曜日 12時～16時、毎第3土曜日 12時～16時・・・月2回開店

②健康・福祉なんでも相談ブース・・・5回開催

☆横須賀市役所前公園にて、毎第4日曜日 18時～19時・・・月1回開設

③なんでも福祉相談「伴歩」（電話・訪問）・・・随時

☆月曜日～木曜日 9時～16時